

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	6 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「見えないだけ」</li> <li>○「アイスプラネット」</li> <li>○「要点を整理して聞き取る」</li> <li>○「枕草子」</li> <li>○「多様な方法で情報を集めよう、職業ガイドを作る」</li> <li>○「熟語の構成」</li> <li>○「生物が記録する科学—バイオロギングの可能性」</li> <li>○「説明のしかたを工夫する」</li> <li>○「魅力的な提案をしよう、プレゼンテーションをする」</li> <li>○「メディアと上手に付き合うために、情報コラム、著作権について知る」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉の使い方や表現の特徴に着目し、自分なりの感想をもちながら読む。</li> <li>○登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。</li> <li>○目的や状況に応じ、話の要点や順序を整理しながら聞き取る。</li> <li>○日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取り、作者の四季の捉え方や感じ方について自分の考えをもつ。</li> <li>○社会生活の中から紹介する事柄を決め、多様な方法で情報を集めながら、自分の考えをまとめ、構成を考えて書く。</li> <li>○熟語の構成について理解する。</li> <li>○文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明のしかたの特徴を捉える。</li> <li>○説明を読み、内容や表現のしかたについて自分の考えを述べる。</li> <li>○情報を多様な方法で集め、聞き手を想定して整理し、わかりやすい説明の構成や展開を考える。</li> <li>○メディアの特徴について書かれた文章を読んだり、自分で多様なメディアから情報を集めて比較したりして、メディアとの付き合い方について自分の考えをもつ。</li> </ul>
2	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「類義語・対義語・多義語」</li> <li>○「新しい短歌のために」「短歌を味わう」</li> <li>○「言葉を比べよう」</li> <li>○「言葉の力」</li> <li>○「言葉をどう分ける？」</li> <li>○「世界で一番の贈り物」「読書コラム たまには、少し変わった本を」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○類義語と対義語、多義語の意味や用法について理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。</li> <li>○解説文の筆者のものの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。</li> <li>○似た気持ちを表す言葉を比べ、言葉のもつ意味について考え、語感を磨く。</li> <li>○「言葉の本質」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。</li> <li>○活用のある自立語と活用のない自立語の性質や働きを理解する。</li> <li>○登場人物の言動の意味や展開、表現のしかたなどに着目して読み、作品に込められたものの見方や感じ方を捉え、自分の考えを深める。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「盆土産」</li> <li>○「字のない葉書」</li> <li>○「推敲して適切な文章に直す」</li> <li>○「気持ちを込めて書こう」「手紙を書く」</li> <li>○「モアイは語る—地球の未来」</li> <li>○「敬語」</li> <li>○「同じ訓・同じ音をもつ漢字」</li> <li>○「平家物語」「扇の的-『平家物語』から-」「仁和寺にある法師」-『徒然草』から-「漢詩のある風景」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○描写の効果、登場人物の言動の意味などに注意し、人柄や心情を読み取る。</li> <li>○人物の言動や様子を描いた表現、心情を表す語句に着目して読み、その人柄や心情を捉える。</li> <li>○書いた文章を読み返して推敲し、言葉の使い方や表記に誤りがない文章にする。</li> <li>○伝えたい気持ちや用件を明確にし、効果的に伝わるよに表現や構成を工夫して手紙を書く。</li> <li>○各段落の役割や叙述の順序に注意して読み、内容を理解する。</li> <li>○敬語の働きについて理解する</li> <li>○同音異義語など、読み方が同じでも、意味・用法の異なる漢字や熟語について理解する。</li> <li>○古典の文章を東独して、その独特の調子やリズムに慣れ、作品を楽しむ。</li> </ul>

	1 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「君は「最後の晩餐」を知っているか」</li> <li>○「相手の考えを踏まえて発言する」</li> <li>○「話し合って考えを広げよう」</li> <li>「パネルディスカッションをする」</li> <li>「意見文の説得力を考える」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○語句や表現の工夫に着目して、筆者のものの見方や考え方を読み取る。</li> <li>○相手の立場を尊重し、自分の意見と比較しながら発言する。</li> <li>○話し合いの目的を理解し、根拠を明確にして話し合う方法を学ぶ。</li> <li>○社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、説得力のある意見を述べる。</li> <li>○伝えたい内容を明確にし、相手に効果的に伝わるよう根拠の示し方を工夫して書く。</li> </ul>
	1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「根拠を明確にして意見を書こう」</li> <li>「意見文を書く」</li> <li>○「落葉松」</li> <li>○「走る。走らない。走ろうよ」。</li> <li>○小さな町のラジオ発</li> <li>一臨時災害放送局「りんごラジオ」</li> <li>○「人物の特徴をとらえて論じよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会生活の中から課題を決めて、適した情報を集めて自分の考えをもつ。</li> <li>○表現のしかたに注意して、自分の考えをもちながら読む。</li> <li>○用言の活用について理解する。</li> <li>○多様な方法で選んだ本や文章のものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。</li> <li>○古典作品に登場する人物の特徴を捉え、伝えたいことを明確にして文章に書き表す。</li> </ul>
3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「走れメロス」</li> <li>○「一字違いで大違い」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○語句の効果的な使い方を理解し、表現の巧みさを読み味わい、描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。</li> <li>○付属語について理解する。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ある日の自分」の物語を書く</li> <li>○「方言と共通語」</li> <li>○「科学はあなたの中にある」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場面や気持ちの変化が効果的に伝わるように、文章の構成や描写を工夫して書く。</li> <li>○方言と共通語の果たす役割について理解する。</li> <li>○抽象的な語句に注意しながら、事例と主張の関係を考えて内容を理解する。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「送り仮名」</li> <li>○「一年間の学びを振り返ろう」</li> <li>○「鍵」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○送り仮名の付け方の基本を理解する。</li> <li>○1年間の学習について、資料や機器などを使って簡潔に発表するとともに、互いの考えについて話し合い、自分の考えを広げる。</li> </ul>

評価について	
評価の観点	評価の方法
①国語への関心・意欲・態度 (国語に関心をもち、意欲的に取り組むことができる)	授業の取り組み、ワークシート 家庭学習の取り組み
②話す・聞く能力 (自己の考えを的確に伝え、他者の考えに耳を傾けることができる)	授業の取り組み、定期テスト 単元テスト
③書く能力 (自己の考えを適切な表現で書くことができる。)	授業の取り組み、定期テスト 単元テスト
④読む能力 (登場人物の心情を理解し、主題を読みとることができる。)	授業の取り組み、定期テスト ワークシート、単元テスト
⑤言語についての知識・理解・技能 (漢字や慣用句、伝統的な言語文化について理解する。)	授業の取り組み、定期テスト 単元テスト